



平成30年2月1日(木)



つつじが丘小学校  
学校だより

# つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



## 心がほっとした雪の日

副校長 森本 弘子



真っ白に染まった校庭。子供たちにとってめったに見ることのない景色でした。朝の短い時間ではありましたが、雪遊びを楽しみました。

ザクザクと雪を踏み、サラサラの雪をつかんで丸めたり、投げたりと先生たちも一緒になって遊びました。子供たちの笑顔が雪と一緒に朝日に輝いていました。子供たちは、遊び終えて口々に「楽しかった。」と言いながら教室に戻ってきました。貴重な時間となりました。

その後高学年の子供たちが、自主的に通路や駐車場の雪かきをしてくれました。

朝も通学路のあちらこちらで、地域の方々が雪かきをして下さり、子供たちは安全に登校することができました。また、職員が歩道の雪かきをしているとお礼を言いながら通り過ぎていく方もいて、地域の方々の温かい気持ちに触れることができ、うれしい気持ちになりました。

たくさんの雪は、交通が乱れるなど私たちの生活にも大きな影響を及ぼします。先日、雪国の新潟でも大雪のため電車が一晚以上立ち往生したというニュースが出ていました。電車の中には大勢の人が閉じ込められてしまったの

です。この時、電車の中では座っていた高齢のあるおばあさんが、目の前に立っている高校生に席を譲ったのです。そこから老若男女問わず席の交代が広がっていったそうです。15時間後電車から降りてきた女子高生の、「疲れたけれど、電車の中はとてもいい雰囲気だった。いい経験をしたと思う。」という言葉が心に響きました。雪によって人の心の温かさを改めて感じることもできました。

本校の子供たちの姿にも感心したことがありました。雪遊びをしたその昼休みのことでした。昇降口横の花壇の中で数名の高学年が手で雪をすくっているのです。何をしているのかと尋ねると、雪に埋もれてしまった花が心配になり、雪をかきだしていると言うのです。その子たちは、普段花壇の花の世話をしている環境委員の子達でした。



花の世話は、やらされている仕事ではなく、主体的に活動している姿の表れです。

本校の子供たちの目指す姿は、主体的な子供たちです。思いは主体的な行動につながります。これからも日々の教育活動を通して、子供たちの心を育てていきます。

暦の上では、春がそこまで来ていますが、まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザも流行っています。元気に過ごし、この寒さを乗り越えていきたいと思います。ご家庭でもうがい・手洗いの励行をお願いいたします。